

響



ひびき

〒384-0006
小諸市与良町6-5-5
TEL.0267-31-0251
FAX.0267-31-0140



令和3年6月18日
No. 2



たち止まって
ひと息ついて
振り向いて

小学校では、田んぼに横縄を張ってゆっくりと前に進んで植えていく方法が多いと思います。水が濁らないようにゆっくりと前に一步踏み込んで、一株ずつ、丁寧に植えていましたね。そして、腰を上げて、一息ついてから、どうかな？って、振り向いて…。

響 第2号 「ひと息ついて」 -もくじ-

授業から学ぶ	主体的な学びの実践	2
研修の窓	授業を観る。子どもの姿で語り合う 初任研 授業力向上研修 I	3
研修の窓	つながりから、やり方・在り方に気付く 研サポネット・研究主任会	4
ICT活用のススメ	すぐに分かる やりとりできる	5
お知らせ	進路はれやか相談会 社会人権教育研修会（延期） スポーツ用具貸し出します	6

運動会や音楽会、中体連大会などもあり、まさに全力で駆け抜けてきた1学期前半。今はちょうど振り返りをする頃でしょうか。

歩みながらではなく、しっかりとたち止まってから振り返ると、自分の足跡が見えてくると思います。

先生方の足跡が前に向かう確かな一歩になっていることを、紙面から感じていただければ幸いです。

「響ひびき」これまでのバックナンバーはこちらからご覧になれます。
本誌掲載の実践などのより詳しい内容については、事務所までお問い合わせください。



主体的な学びの実践 ～「見通し」を大切にした授業～

授業から学ぶ
(小学校・社会)
「長野県の広がり」



A小学校のB先生は、4年生社会科の長野県の広がり授業において、視点と方法という2つの「見通し」を大切に授業を進めていました。見通しをもち追究する子どもたちの姿は、とても主体的でした。

見通し① 視点 (気温・降水量)

B先生は、授業の導入で、前時りんごがなぜ北信地方で多く作られているのかを気温や降水量の視点をもとに追究したことを振り返りました。

子どもたちは、気温や降水量がりんごの栽培条件に適していることを思い出し、レタスの栽培にも同じような視点から調べられるのではないかと「見通し」をもって追究に向かう姿が見られました。



<学習問題>

なぜ、レタスが南牧村と川上村に多く作られているのか。

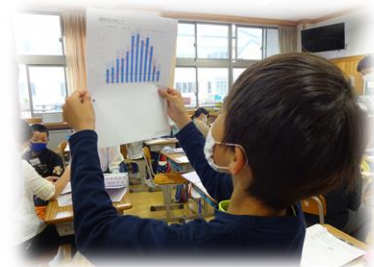
りんごの学習のときに使った考え方を、今度はレタスの学習でも使ってみよう。



今日も「気温や降水量」に目を付けて、タブレット、本、雨温図を使って考えよう。

見通し② 方法 (雨温図・タブレット・本を使って)

～見通しをもって調べる子どもたちの姿～



2つのグラフを重ねて比べる子

南牧村と川上村の気温や雨の量を、他の地域と比べるために、グラフを重ねて調べようとしていました。



みんなが集まって意見を出し合う

タブレットを囲んで集まり、レタスの甘みについて意見交換するうちに、昼と夜で気温差が原因であることに迫っていきました。



本を使って調べはじめる子

気温が涼しいのはなぜだろうと立ち上がり、本で調べて「標高」が高いからだということに気付いていきました。

学習を進めるための見通しがもてた子どもたちは、追究の時間になるとすぐに席を立ち、それぞれが選んだ方法で主体的に取り組んでいました。

まとめの場面では、レタスの栽培においても、気候や降水量が関係していることを共有し、理由をクラスみんなで確認しました。

時間を忘れるくらい熱心に追究を進める子どもたちの姿から、「見通し」をもって学習に向かうことの大切さを感じました。



「やっぱりレタスも、りんごと同じように気温や降水量が関係していることがわかった。」

子どもたちは、前時までの追究の視点である「気温」と「降水量」に加えて、新たに「標高」という視点を見出しました。B先生は、その新たな視点を次に生かすことができるように、黒板にまとめていきました。

ここで見出した視点が、また次の時間の「見通し」につながり、「主体的な学び」へとつながっていくのでしょうか。





授業を観る。子どもの姿で語り合う。 ～初任研 授業力向上研修 I～

本年度初めて参集できた初任者研修でした。各会場での先輩の授業参観と授業研究会を通して学んだことを振り返りましょう。

そっと寄り添って、視線を合わせて頷いて…。
こんな眼差しに心を打たれました。担任する学級の子どもたちとの信頼関係を感じます。

授業で表れていた先輩の姿には、見えないところでの努力や工夫がありました。子どもたちへの関わりや、ねらいに沿った教材研究など、充実した授業をつくるために大切なことを、各教科の授業の実際や子どもの姿から学んだと思います。自分の担当するすべての授業づくりに生かしていきたいでしょう。



各教科の授業づくりの工夫から学んだこと

佐久市立泉小学校（道徳）

- ・ 先生が自身のエピソードを語ることで、子どもも自分のことを想起できたこと。
- ・ 教師も道徳的価値を考える一人であり、授業では子どもと共に考える一人であること。
- ・ 子どもの実態に沿って、教材との出合わせ方を工夫していること。

佐久市立浅間中学校（理科）

- ・ 興味もてる導入や、子どもの思考に沿った提示の仕方の工夫をすること。
- ・ 同じ題材でも一人一人注目する視点は異なってくる。それを認めながらすすめること。
- ・ 見慣れない物に対する子どもの好奇心や関心を大事に、授業の流れをつくること。

東御市立滋野小学校（算数）

- ・ お金を計算するという身近な場面を設定し、考えてみたい！と思える導入にしたこと。
- ・ 子どもの言葉からめあてを決め、自分でやり方を考えて達成できるようにしていたこと。
- ・ 子どもの思考に合わせた発問を考え、子どもの発想やアイデアを認めていたこと。

上田市立第三中学校（理科）

- ・ 予想を踏まえて実物と関わることで、自分の考えが変わっていくことを自覚していたこと。
- ・ 1人1台の端末を自由に使って、花を撮影するなど、自分の思うように追究できたこと。
- ・ 花の形や分解の仕方など、追究の視点をもって花に向き合う姿がすばらしいこと。

子どもの姿を通して語り合うこと

子どもの発言や記述のみならず、些細な仕草や反応など、客観的な事実をもとに考察していくことで、教師の意図が子どもにとってどんな手だてとなっていたのかを具体的に捉えることができます。

そして「その時、私が見ていたAさんは…」 「先生のこの一言がこの姿を導いた」など、子どもの姿を通して語り合ったことは、互いの子どもの捉え方や感じ方を学び合うことになり、自らの授業づくりへの意欲を高めることにつながったことと思います。

初任2年目の先輩の授業から、きっと、この1年の大きさを感じたことでしょう。また、同期と語り合う中で、共に磨き合う仲間がいる心強さを感じ、心の奥から燃え上がるものがあつたのではないのでしょうか。ここからまた、楽しみですね。



すぐに分かる やりとりできる ～ICTの魅力と活用事例～

各学校ではICT端末を授業場面でどのように活用するか模索が続いていると思います。ICT端末の魅力と活用事例について紹介します。

結果がすぐに分かる！「即時性の向上」

アプリの共有機能（同時編集機能）を使うと、子どもが入力した次の瞬間には、全員がその内容を見て、確認することができます。例えば、アンケートアプリでは、グラフにして視覚的にわかりやすくすることが可能です。（図1）

また、テスト形式にすれば、瞬く間に採点ができ、結果をフィードバックすることもできます。（図2）



間違えた問題は赤で表示されます。

ボタンダウンやプルダウンの「選択式」とキーワードなどの「短答式」が自動採点でき、解説を加えることもできます。

遠くの人たちとやりとりができる！ 「双方向性の充実」

ICT端末を使うことで、学習がこんなにも広がっています。

- ・道徳の授業において、小規模校同士をオンラインでつなぐことで、いつもは数名で学習していたが、同学年の多くの友だちの多様な思いや考えを聞き、考えを発展させた。
- ・総合的な学習の時間で、遠方の講師の方にインタビューを行った。
- ・外国語の授業で、海外の方の生の英語で即興的にやりとりをすることができた。

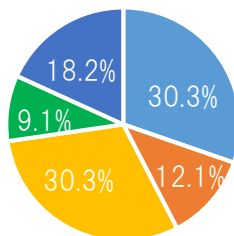
ICT機器を効果的に使い、各教科で知識・技能を身に付け、思考力・判断力・表現力等を育成していきましょう。

情報を素早く正確に処理できることがICT機器の優れている点です。短縮して生み出した時間で、導入場面や展開場面、終末場面を充実させることも可能です。



東信教育事務所で作成し、各学校に4月22日に送付した『1人1台ICT端末&クラウドスタートブック』を是非ご活用ください。

図1 小2 道徳



やっちに「ゆっきがいくらがんばってぼくのほうがはやいさ」と言われて、ゆっきはどんなふう思ったでしょうか。
33件の回答

- ぼくちはやくとびたいな
- やっちはやくとべていいな
- くやしいな
- そんなにじまんしなくてもいいのにな
- やっちはすごいな

図2 中1 音楽

オーケストラで使われている楽器

合計点 75/100点

オーケストラで使われている楽器の4つに分けて、点数が表示されます！

✓ 第1問 写真の楽器は、金管楽器で一番難しい楽器です。名称を、次の20/203つの中から1つ選びなさい。

これらは Google フォームで簡単に作成できます。

Forms

クラリネット

ホルン



お知らせ

学校教育課



進路はれやか相談会へお越し下さい

東信教育事務所では、いじめ・不登校地域支援事業の一環として、進路についての悩みや不安を抱えている不登校傾向にある生徒及び保護者を対象に、進路に関する相談会を開催し、進路選択の不安軽減に向けた支援を行っております。

佐久市民創錬センター

7月26日(月)

17:00~20:00

受付：16:30~19:30

1階 集いの広場

上田創造館

7月27日(火)

17:00~20:00

受付：16:30~19:30

1階ロビー



- 進路等について、東信教育事務所の主事等がプライバシーに配慮して相談に応じます。生徒及び保護者へのお誘いをお願いします。
- 申し込み等については、各学校に配付されているチラシをご覧ください。

生涯学習課



延期 社会人権教育研修会

6月24日(木)



10月28日(木)【予定】13:00~16:30

会場：佐久平交流センター

【全体講演】「様々な人権課題について満蒙開拓から考える」

満蒙開拓平和記念館館長 寺沢秀文さん

【分科会】同和問題、高齢者、子ども、障がい者、性的少数者、ワークショップ

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、延期します。
初夏から秋へと開催時期が変更となりますが、ぜひご参加ください。

『スポーツ用具』 貸し出します！

身体接触がない『的当て』系が豊富
～1人、グループ、集団、多様なバリエーション～

- ・運動遊びの時間に
- ・人間関係づくりに
- ・ニュースポーツの体験に
- ・交流会のゲームで
- ・地区子ども会のお楽しみ会で
- ・PTAバザーの空きスペースで

◆ラダーゲッター

<3セット>

36人まで

人気!

ひもつきボール(↑)を
投げてラダーに巻き付ける



◆ボッチャ

1セットで12人まで
競技可能

<9セット>



◆輪投げ

1セットで2～8人

<2セット>

【公式ワナゲ】
ルール対応



◆ストラックアウト

<大>

<中>



◆トリコロキューブ

<1セット>

9人～27人
キューブ(↓)を
転がす

白熱!



3チーム対抗
大逆転あり



他にも・・・

- ・ネットネットゲーム
- ・スラックライン
- ・ターゲットプレイシート
- ・スマイルボーリング
- ・ガラッキー
- ・キンボール
- ・Xロープ
- ・バグゴ

など全37種類

『ルールやゲームの内容について知りたい!』や
『どこで、だれと、こんなことをしてみたい・・・』
という相談も、お気軽にお問い合わせください。
地区行事や公民館活動でも、ご利用できます。
(PTA会長さん、地区役員さんにもご紹介ください)

お問い合わせ

東信教育事所 生涯学習課

担当： 柿沼 宏直

TEL： 0267-31-0252

E-mail： toshinkyo-shogai@

pref.nagano.lg.jp

